



令和7年3月1日
有松まちづくりの会

有松まちづくりの会役員会 (2月24日)

2025年総会が下記日程で実施されることが決まりました。

5月16日(金) 13:00～ 校会館2階

3月1日に岩村で開催の東海ブロックゼミに中濱会長はじめ3名が参加。

2月14日に設立された、中濱会長が代表を務めるまちづくり会社「有松未来創造」についての内容説明が中濱会長よりあり、有松の町並みの魅力向上を目指すための活動を、会として応援していくこととしました。

春のありまつさんぽ道 福よせ雛 (2月22日～3月23日)



近代建築の医院、明治期の表土蔵と相まって素敵な景観が演出されている。

松の根橋から安藤来助商店まで有松全域に飾られる福よせ雛を是非堪能して欲しい。

* "ねじまき句会" 名古屋に所属。愛知・岐阜・三重・静岡・千葉・東京・大阪・兵庫の川柳人に声をかけ、作品を集めてくださったそうです。

文嶺講総会 (1月12日) 於:中町年行司

西村明敏総代長始め各地区の総代約40名が集まり行われた。総代長よりの挨拶の後、令和6年度事業報告及び決算報告がなされ、また令和7年度事業計画と献灯神事について議事が進められた。引き続き各地区新総代の紹介とともに退任者への慰労が行われた。

有松あないびとの会総会 (1月21日) 於:ふじ寿司

加藤明美会長より「今日も新人さんをお迎えできた。会員一人一人が目標をもち個性的なガイドを行っている。魅力的な会の証である」と。2024年度活動報告・収支決算に続き2025年度活動計画案・収支予算案が承認された。

3月2日より毎月第1日曜日13:00～無料町並み案内を実施(受付は岡家住宅)

まちの風景



花屋Luoreで

今年10年目を迎える有松春の恒例イベント。年々取り組みは充実し、その内容の一端は次号で紹介したい。

今年が目玉企画は「53次川柳」。有松あないびとの会の宮川尚子さんが、所属する会*の皆さんから集めてくださった珠玉の川柳が山中歯科医院の東海道沿い塀に55句展示されている。ガラスブロック曲面の見られる



ふじ寿司にて



世界初?の

立体絞り暖簾

(久野剛資氏制作)

知多半島に学ぶ



60年前に名古屋市に合併した有松は元々知多郡。有松を深く知るには、知多を学ばなくては。講師の桑山奈美帆さんは「知多半島は昔からものづくりが盛ん。江戸時代に知多木綿・常滑焼・知多酒を全国に流通させた。海運業が盛んで江戸・大阪とも取引できた為。時代に合うよう新しいものづくりに努めた結果でもある」と。知多木綿と絞りに焦点化した取り組みを紹介したい。

▶ 藍建て・藍染めワークショップ (1月12日・26日) 於:モスアリマツ

桑山奈美帆さん

受講生は約20名。一言も聞き逃すまいとの表情。講師の桑山さんは常滑にある小さな藍工房"紺屋のナミホ"を主宰。畑から染料を作り、この天然染料で昔ながらの技法にこだわって染色している。毎日素手で染めているため手先が藍色っぽい。



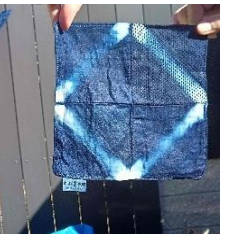
12日前半は藍染についてのガイダンス。その歴史についての話で印象に残ったのは、天然藍で染めた布は丈夫で燃えにくい。防虫効果もある。当時は実用的でもあった。



後半は藍の建て方。紙芝居仕立ての分かりやすい説明に皆理解を深めていきます。

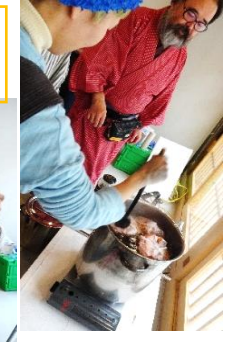
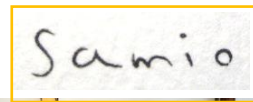
45ℓのポリタンクに染(すくも)を入れ、灰汁とよく練ります。棒で100回程混ぜた後にふすま(小麦の皮)を入れて発酵が始まります。この日はここまで。この後受講生は2週間、朝と晩に50回ずつ攪拌をおこないます。

26日藍建てが完成、黒味がある赤紫色の藍華(写真左)に皆感動。20℃程の染液の中に布を入れ、重ね染めをして色付けを終える。染液から取り出すとき一瞬見られる緑色が印象的。水洗いなどで酸化が進むと青色に変わる。「この緑色が見たくて藍染をしている」と桑山さんは仰っている。



▶ 草木染めワークショップ (1月12日)

受講者は約10名。講師は知多木綿に有松絞りの技法で草木染を行うsamio(サミオ)の泉奈穂さん。始めに板締め絞りの技法を紹介され、各自好みの技法で取り組まれた。次に染め液作り。今回は玉ねぎの皮を使った草木染め。温めた湯にネットに入れた玉ねぎの皮を入れて作ります。染め液の後、焙煎液にもつけます。玉ねぎの皮は本当によく染まります。



有松絞と日間賀島

(2月8日)

主催:国際ファッション専門職大学 於:モスアリマツ

"有松絞と地域のつながり"研究の一環で日間賀島でフィールドワーク。現在でも三浦絞りの職人さん2名が健在。「その技術を見て欲しい」と参加者10数名を得て企画された。

午前は技を間近で見学。午後は職人(江尻さん北川さん)と山上商店社長との座談会。「金銭勘定抜きで丹精込めて作った」「次の仕事を得るのに有松の間屋さんまで運んだ」(職人)



山上社長

「昔は一人1技、日間賀島では三浦絞りが行なわれていた」(山上)。日間賀島での括りは1920年頃に始まり、1970年頃から観光業発展で括り作業は衰退との調査結果の発表もあった。

あいまつを学ぼう

今年もたくさんの小学生が来訪。“あないびと”の心のこもった案内が光ります。

◆ 豊明小学校4年生 59名 (12月4日)

絞会館では藍甕の大きさや伝統工芸士のくくりの技に驚いていた。山車会館でも山車の大きさに感動。からくり体験も楽しんだ。続いて町並み散策。なまこ壁・土壁・つし2階建・虫籠窓・卯達・懸魚等の説明にメモをしっかりと取っていた。岡家では自分の家との違いを意識しながら見学。珍しい物を見つけたり説明にうなずいたり、楽しそうな様子がみられた。帰路は質問や感想を述べあう楽しい時間のようでした。



◆ 有松小学校3年生103名 (1月10日)

粉雪が舞う中、「早く学校に戻りたい」と言いながらも一生懸命メモを取る姿が印象的でした。あないびとの皆さんも、分かりやすく説明しようと提示資料を工夫している人が少なくない。その効果の現れかもしれない。学年103人を18班に分けて実施。同行した班では、有松小150周年にちなみ「100年程前この場所に学校は移転してきた。“飾り門”は唯一当時のもので」と学校の歴史を思い起こさせる案内がされていた。



飾り門の前で

◆ 日進市立相野山小学校4年生54名 (1月28日)

4年生では伝統的工芸品としての有松絞りを学ぶとのこと。事前学習がしっかりされているようで熱心さが伝わってくる。中にはイラスト付きで記録をつけている子も…。山車会館では初めて見る山車の大きさに驚き、絞会館2階での実演では食い入るように手元を覗いている。資料室見学で「三浦絞りって人の名前ですか？」この質問には脱帽です。



絞会館2階での実演

※ 以下は近隣の見学常連校。毎年の来訪ありがとうございます。

◆ 平子小学校(1月23日)

今年も3年生25名が西町の町並みと天満社見学に来訪。「熱心に聞いてくれる子が多かった」文嶺講の方も天満社を開門してお出迎えくださった。

◆ 桶狭間小学校(1月29日)

3年生113名が例年通り歩いて有松まで来てくれました。興味津々、たくさんの質問をしてくれたのが印象的。前後半に分かれて到着。10班に分かれての少人数案内がよかった。

◆ 太子小学校(1月30日)

それぞれのあないびとから聞いた説明を、クラスで共有してくれました。後日、町歩きの感想を絞り柄を配した凝った用紙で届けてくれました。54名参加。

有松消防団 消防出初式に参加(1月12日)於:名古屋ガーデンふ頭

昨年3月に新型車両を納車したことを受け、有松消防団と団車両共に出初式に参加された。大勢の観客が見守る中、他の地区の新型車両と共に消防演技(災害発生時、車両と共に現場に駆け付けた消防団の消火活動)を披露した。



文化財防火デー防災訓練 (1月25日) 於:絞会館横の駐車場

法隆寺金堂火災をきっかけに設けられた文化財防火デー。東海道路沿いの町内の皆さんなど40名程が参加された。参加者の女性が「火事だー！」と大声で通報。駆け付けた代表者が、緑消防署・有松消防団の指導で、実際に消火器を使って初期消火を体験。消防車からの放水も行われた。

緊迫した訓練に、最近度重なる災害もあって住民の方々も「自分事」として臨んでおられる姿勢が感じられた。



有松駅を降り東海道への近道(山与遊歩道)に差し掛かる所に慎み深くお店がある。絞りのまち有松を思い浮かべる佇まいのこの店の菓子を知らない人はいない。

▶ **どうして有松にお店を構えることにしたのですか？**

45年前商売を始めようと物件を探していた時、不動産屋さん「今度、有松の駅前に店を作るのでいかがですか？」と勧められて、中村区から家族で転居してきました。有松は全く知らない土地でした。

▶ **これまでのご苦労や喜びは？**

その当時は経済も社会も元気で、商売も順調に続けられました。しかし、最近ライフスタイルの変化や大規模店の進出等で小売店は苦戦している状況です。グランパニエも例外ではありません。当店は"品質を落とさずお菓子を製造していく"というポリシーで作りを続けられればと思っています。

▶ **これからのこと、こんな町になって欲しいという願いは？**

若い人が少しずつ増え、違った展開になる事を期待します。自分が勤めていた大須の町も、50年前は淋しい町でした。時間はかかるかもしれませんが、有松には名古屋市内では他にはないものがあるように思います。



右:有松絞り-ひとめ
左:有松:ときかさね



Grand Panier グランパニエ 営業時間 AM9:00~PM6:00 ケーキと焼菓子のお店です。

催事・行事予定

- 2月22日~3月23日 春の有松さんぽ道・福よせ雛と町歩き 東海道一帯 同実行委員会
- 3月1日(土) 10:00 第5回東海ブロック町並みゼミ岩村大会 岩村コミュニティーセンター
- 3月2日(日) 10:00 アリマツケット 有松天満社一帯・モスアリマツ ありまつ中心家守会社
- 3月2日(日) 13:00 無料町並みツアー 受付:岡家住宅 有松あないびとの会
- 3月2日(日) 14:00 ひな祭りライブ二胡・箏 棚橋家住宅 有松町家ライブ実行委員会
- 3月13日~16日 10:00 有松史料調査保存会第4回発表会 棚橋家住宅
- 3月14日~16日 10:00 有松まちなみ美術館 申申居・旧山田薬局・ATSUMARI・川村家東蔵・有松郵便局
(有松郵便局のみ 3月3日~28日) NPO法人コンソーシアム有松
- 3月16日(日) 11時・12時・13時・14時 無料町並みツアー 岡家住宅 有松あないびとの会
- 3月17日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 3月20日(木祝) 9:00 クアオルト健康ウォーキング 江戸情緒と絞りのまち日本遺産有松コース 有松一帯
緑区地域力推進課
- 3月23日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 3月23日(日) 10:00 福よせ雛散策会 有松東海道一帯 緑区地域力推進課
- 3月24日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)
編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)
pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

《編集後記》有松東海道が福よせ雛で賑やかな3月、お気に入りのイベントに参加しませんか。有松の奥深い魅力の一端に触れること間違いなしです。